

英語科における授業改善について④「話すこと」

「話す力」を育成するためには、やりとりをする時間の確保が大切です。教員と生徒、生徒同士など、毎回の授業で短時間でもいいので、やりとりをする機会を生徒に与えましょう。そして、聞いて把握した内容について、即興で応じたり質問したりできるようにしましょう。



岡山県マスコット「ももち」

話すこと 設問2 即興でやり取りをする〔家族に関する質問をする〕

【設問の趣旨】 聞いて把握した内容について、やり取りすることができるかどうかをみる。

大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

ユイコ あなた アラン先生

A: Look at this picture of my family.

A: This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. What kind of work does your mother do?
A: She is a teacher.

A: Do you have any other questions about them?
(解答時間 20秒)

| | 解答類型 | 反応率 (%) | 正答 |
|----|---------------------------------|---------|----|
| 1 | やり取りを踏まえた内容を、正確な英語で解答している | 8.4 | ◎ |
| 2 | コミュニケーションに支障がない程度の誤りがある | 2.1 | ○ |
| 3 | コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがある | 6.5 | |
| 4 | やり取りを踏まえた内容を解答していない | 33.5 | |
| 5 | 既出の情報について質問している | 0.9 | |
| 99 | 上記以外の解答 | 27.8 | |
| 0 | 無解答 | 20.7 | |

正答率
10.5%



課題

やりとりを踏まえた質問をしている ×
正しく伝わる英語で話している ×

【解答類型 99、0】

何を問いかけているかが分かっていないか、いつ自分の発話機会が訪れるか分からない状況で、話されているやり取りを聞きながら、即興で応じることに慣れていない。 例) ・What's ・cooking



上記課題2点を克服するためには、日頃の授業で継続的にやりとりをする機会を意図的に増やすことが大切です。

※英文は、スクリプト原稿です。

【解答類型 4】

やりとりの内容を理解していないか、何を問われているか理解していないため、適切な英語で応答できていない。

例) What's foods do you like?

つまづき解消に向けた授業改善の例

次のようなコミュニケーション活動だけに取り組んでいませんか。

- ワークシートを見ながら、質問したり、答えたりしている。
- 定型の会話文を示し、単語を変えるだけの表現活動をしている。

例)

A: What food do you like?
B: I like _____. How about you?
A: I like _____.
B: Me too. / Oh, really? など

→コミュニケーションの型を習得するには効果的ですが、やりとりの内容を理解し、即興で応じる活動にはなっていないため、更なる工夫が必要です。



情報や考えなどを即興で伝え合う指導の充実を図る(Small Talkなど)

- トピック(場面や状況)を示し、コミュニケーションの目的を理解させる。
- 教師同士や、教師と生徒のやりとりを通じて、モデルを示し、音声でのインプットを促す。
- コミュニケーションの大切なポイント(Eye contactなど)を確認した上で、ワークシートや黒板に定型文を示すことなく、ペアでコミュニケーションさせる。
- 机間指導等を通じて把握した改善点を全体で確認し、新たなペアで、再度コミュニケーションを行い、定着を図る。

〈さらに一工夫〉

1対1の対話の中に3人称を登場させるトピックを導入することでコミュニケーションの幅を広げましょう。